１．コンピュータシステム

１．４システム構成（システムの形態）

問題１　【解答：エ】

ア：システムは、のがしても、したをりしてシステムをしてできる。

イ：システムは、のネットワーク、データベース、セキュリティなどをする必要があり、システムよりもはになる。

ウ：システムは、やシステムをするときにも、にできるというがある。

エ：システムでは、てのにをするがあるため、ネットワークやデータベースのがシステムよりもくになる。（正解）

問題２　【解答：エ】

・POS（Point Of Sales）システム

：バーコードリーダなどをいたシステムのことである。ビジネスシステムの一つであり、システムのではない。

・Webシステム

：インターネット上のWebサーバにアクセスしてするシステムである。ながある、クライアントサーバシステムのである。

・クライアントサーバシステム

：をするコンピュータ（クライアント）と、をうコンピュータ（サーバ）でされた分散システムである。ながある。

・ピアツーピア

：すべてのコンピュータがなにあるシステムである。システムのもで、それぞれのコンピュータにあるデータなどをできる。（正解）

問題３　【解答：ア】

・クラスタシステム

：のコンピュータをさせて、を１ののコンピュータであるかのようにするシステムである。のコンピュータにがしても、ほかのコンピュータにをわりさせることによって、システムのをできる。（正解）

・シンクライアントシステム

：シンクライアントをした、クライアントサーバシステムである。

・タンデムシステム

：やをとして、のプロセッサをにしたシステムである。システムのの一つである。

・デュプレックスシステム

：のシステムをしておき、がしたときにりえるのシステムである。システムのの一つである。

問題４　【解答：ア】

・

：したにするコンピュータのを、のをするシステムのである。（正解）

・バッチ

：をめておいて、あるでしてするである。

・

：をしてうシステムのである。

・リアルタイム

：がするたびにするである。

問題５　【解答：ア】

サーバのは、「１のコンピュータでのなサーバをさせること」、またはのサーバをしてのコンピュータのようにさせることである。

イ：VPN（Virtual Private Network）にするである。

ウ：バーチャルリアリティ（VR: Virtual Reality）にするである。

エ：にするである。

１．コンピュータシステム

１．４システム構成（システムの形態）

問題６　【解答：イ】

シンクライアントは、になデータなどはすべてサーバにおいてさせ、クライアントはをする（ブラウザ）だけにするみである。シンクライアントはをたないため、「にデータがらないので、のがい。」

　シンクライアントのとして、なものはどれか。

ア：ミラーリング（RAID0）のである

ウ：シングルサインオンのである。

エ：バイオメトリクスのである。

問題７　【解答：ウ】

・CAD（Computer Aided Design；コンピュータ）

：のにするをするシステムである。コンピュータグラフィックスやモデリングなどのがされる。

・IDE（Integrated Device Electronics）

：とのにされるパラレルインタフェースである。

・グリッドコンピューティング

：のコンピュータをネットワークで、につのコンピュータであるかのようにするである。（正解）

・マルチプロセッサシステム

：のコンピュータ（プロセッサ）をみわせたシステムのである。に“マルチプロセッサ”というは、のプロセッサがされたコンピュータをさすことがい。

１．４システム構成（システムの構成）

問題１　【解答：ア】

・シンプレックスシステム

：のシステムがないシステムである。にがしたは、システムもする。（正解）

・デュアルシステム

：二つのシステムが、すべてじをうである。を（クロスチェック）し、あやまりがしていないかする。は、したシステムをりして、をする。

・デュプレックスシステム

：のシステムをしておき、がしたときにりえるのシステムである。は、のシステムにのをさせておくこともできる。

・マルチプロセッサシステム

：のコンピュータ（プロセッサ）みわせたシステムのである。に“マルチプロセッサ”というは、のがされたコンピュータをさすことがい。

問題２　【解答：イ】

RAID（Redundant Arrays of Inexpensive Disks）は、システムの「アクセスのとの」をとして、のディスクをするである。データとビット（エラーやのデータにされるビット）の記・などによって、の（RAID0~RAID5）にされる。

問題３　【解答：ウ】

NAS（Network Attached Storage；ネットワークストレージ）は、ネットワークに、できるストレージ（）である。なるで、データを「ファイル」でにできるので、システムでのファイルやファイルサーバ（ファイルをするサーバ）としてされる。

問題４　【解答：ウ】

デュプレックスシステムは、予備のシステムを用意しておき、障害が発生したときに切り替える方式のシステムである。「平常時は一方の処理装置が待機しており、稼働中の処理装置が故障したら、たいきちゅうのしょりそうちにきり変えて処理を続行する。」

ア：マルチプロセッサシステムに関する説明である。

イ：タンデムシステムに関する説明である。

エ：デュアルシステムに関する説明である。

問題５　【解答：ア】

　RAID１（ミラーリング）は、２台のディスク装置に同じデータを同時に記録する方式である。片方のディスク装置をバックアップに使用することで、「データの可用性を高める」ことができる。

イ：RAID0の特徴である。RAID1は複数のディスクに同じデータを書き込むため、連結したディスクの合計容量をもつハードディスクドライブとして利用することができない。

ウ：RAID０（ストライピング）の特徴である。ストライピングは、RAID５でも利用される。

エ：RAID５の特徴である。

問題６　【解答：ウ】

１．４システム構成（システムの評価指標）

問題１　【解答：ア】

レスポンスタイム（応答時間）は、「コンピュータシステムに対する処理依頼が完全に終了してから、処理結果の出力が開始されるまでの経過時間」である。一方、ターンアラウンドタイムは、コンピュータシステムに対する処理依頼の開始から、処理結果の出力が完全に終了するまでの経過時間である。

ターンアラウンドタイム

レスポンスタイム

問題２　【解答：エ】

　フールプルーフの考え方として、適切なものはどれか。

ア．システムに障害が発生したとき、安全性を重視する。

イ．システムに障害が発生する確率を、限りなく0に近づけていく。

ウ．システムを構成する装置を多重化することで、装置に障害が発生してもシステムを停止させない。

エ．利用者の誤操作などによってシステムに影響が及ばないように、利用者の誤りをできるだけ未然に防ぐ。

問題３　【解答：ウ】

　システムのコストを表すTCOに関する説明として、適切なものはどれか。

ア．システム導入後に発生する総コスト

イ．システム導入時に発生する総コスト

ウ．システム導入時に発生する費用から、システム導入後に発生する費用まで含めた総コスト

エ．ネットワークに発生する総コスト

問題４

システムの性能を評価する指標と方法に関する次の記述中のａ～ｃに入れる字句の適切な組合せはどれか。

ａ

利用者が処理依頼を行ってから結果の出力が終了するまでの時間を　　　　　タイム、単位当たりに処理される仕事量を　　　　　という。また、システムの使用目的に合致した標準的なプログラムを実行してシステムの性能を評価する方法を　　　　　という。

c

ｂ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ａ | ｂ | ｃ |
| ア | スループット | ターンアラウンド | シミュレーション |
| イ | スループット | ターンアラウンド | ベンチマークテスト |
| ウ | ターンアラウンド | スループット | シミュレーション |
| エ | ターンアラウンド | スループット | ベンチマークテスト |

問題５

コンピュータシステムのコストを初期コストとランニングコストに分けるとき、初期コストに含まれるものはどれか。

ア．オペレータ費用　　　 　 　　　　 イ．設備維持費

ウ．ソフトウェア開発費 　 　　　　　エ．リース機器費

問題６

　フェールセーフの考え方に該当するものはどれか。

ア．作業範囲に人間が入ったことを検知するセンサが故障したとシステムが判断した場合、ロボットアームを強制的に停止させる。

イ．数字入力フィールドに数字以外のものが入力された場合、システムから警告メッセージを出力して正し

い入力を要求する。

ウ．専用線に障害が発生した場合、すぐに公衆回線に切り替え、システムの処理能力が低下しても処理を継

続する。

エ．データ収集システムでデータ転送処理に障害が発生した場合、データ入力処理だけを行い、障害復旧時

にまとめて転送する。

１．４システム構成（稼働率）

問題１

　図に示すあるシステムの運転状況において、区画Aにおける平均故障間動作時間と平均修復時間の組合せとして、適切なものはどれか。

経過時間

稼働中

300時間

故障修理中

10時間

故障修理中

10時間

故障修理中

20時間

稼働中

200時間

稼働中

100時間

故障修理中

30時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　区間A

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平均故障間動作時間 | 平均修復時間 |
| ア | 15時間 | 150時間 |
| イ | 20時間 | 200時間 |
| ウ | 150時間 | 15時間 |
| エ | 200時間 | 20時間 |

問題２

　あるコンピュータシステムのMTBFが400時間、MTTRが100時間のとき、このシステムの稼働率が幾らか。

ア．0.20　　　イ．0.25　　　ウ．0.80　　　エ．4.00

問題３

　二つの装置A、Bが直列に接続されたシステムがある。装置Aの稼働率が0.8、装置Bの稼働率が0.9のとき、システム全体の稼働率は幾らか。ここで、システムは装置A、Bの両方が正常に動作しているときだけ、稼働しているものとする。

ア．0.72　　　イ．0.85　　　ウ．0.90　　　エ．0.98

問題４

四つの装置A～Dで構成されるシステム全体の稼働率は幾らか。ここで、各装置の稼働率は、AとCが0.9、BとDが0.8とする。また、並列接続部分については、いずれか一方が稼働しているとき、当該並列部分は稼働しているものとする。

B

Ａ

D

C

ア．0.52　　　イ．0.92　　　ウ．0.95　　　エ．0.96

問題５

同じ装置が複数接続されているシステム構成のうち、システムが停止する可能性の最も低いものはどれか。

ここで、□は装置を表し、並列に接続されている場合はいずれか一つの装置が動作していればよく、直列に接続されている場合はすべての装置が動作していなければならない。

ア．　　　　 　 　　　　 　　　　　　イ．

ウ．　　　　　　 　 　　　　　　　　エ．

問題６

　MTBFとMTTRに関する記述のうち、適切なものはどれか。

ア．エラーログや命令トレースの機能によって、MTTRは長くなる。

イ．遠隔保守によって、システムのMTBFは短くなり、MTTRは長くなる。

ウ．システムを構成する装置の種類が多いほど、システムのMTBFは長くなる。

エ．予防保守によって、システムのMTBFは長くなる。